

現代日本の写実絵画

ホキ美術館

HOKI MUSEUM

SPARK 君は若かった

That Initial Realist Spark:
When You Were Young

あの時

写実画家の
若き時代の記念碑的な作品と
現在の作品を展示します。

2018年5月24日[木] ~ 11月18日[日]
企画展示室 ギャラリー1にて開催

2009年



2014年

塩谷亮《模写 ヴェロッキオ工房「キリストの洗礼」(部分)》(部分)作家蔵

塩谷亮《17歳のシモーネ》ホキ美術館蔵

1970 1971 1972 1973 1974 1975 1976 1977 1978 1979 1980 1981 1982 1983 1984 1985

若き頃の想い — あの時君は若かった —

ホキ美術館の写実絵画コレクションは、1998年、森本草介の《横になるポーズ》から始まり、現在では450点を超えています。常に現代作家の最新作を中心に蒐集してきました。そのため、初期のコレクションは作家の若き日々の作品でもあります。

そこで、本展では現在活躍している画家が若かった頃、どのような作品にインスピレーションを受けたのか、写実絵画へ進むきっかけとなった作品や、エポックメイキングな作品と現在の作品を紹介します。

たとえば、青木敏郎(1947年生まれ)は、京都に生まれ、東京造形大学在学中にヨーロッパ留学のきっかけを掴み、フェルメールの「デルフトの眺望」に出会い、模写することで、その後の指針としました。

野田弘志(1936年生まれ)は東京藝術大学卒業後、広告代理店でイラストレーターとして活躍するも、大病をきっかけに画家としての一步を踏み出します。

若い時代にヨーロッパで学んだ作家もいます。小尾 修(1965年生まれ)は40代でパリへ留学し、レンブラントの自画像を模写したことから大きな飛躍を遂げました。石黒賢一郎(1967年生まれ)はマドリードに留学し汚して消す「マンチャ」というデッサンの技法を習得、その後もスペインを軸に活動を続けています。塩谷 亮(1975年生まれ)はフィレンツェに留学し、ルネサンス期のテンペラと油絵を研究しました。これらの作品と共に、女性像で定評のある島村信之の初期の作品ほか、若手作家のデビュー当時の作品を紹介。ホキ美術館所蔵の15作家45点に加え、貴重な若い頃の作品を数点作家よりお借りし、計約50点を展示いたします。



30代の頃に描いた作品



青木敏郎《模写 フェルメール「デルフトの眺望」》1978年 作家蔵



五味文彦《樹人の嘔き》1991年 作家蔵



森本草介《横になるポーズ》1998年



石黒賢一郎《VISTA DE NAJERA》2005年



島村信之《寝室の朝》2001年



大畑稔浩《瀬戸内海風景—川尻港》2003年



大矢英雄《春の風の原因》2000年



塩谷 亮《朝》2005年



小尾 修《賢》1998年



藤原秀一《ひまわり畑》2006年



若手作家のデビューの頃



山本大貴《Symptom》2007年



廣戸絵美《廊下》2010年



三重野 慶《信じてる》2016年



藤田貴也《Tanguer no. 2》2013年

ホキ美術館

HOKI MUSEUM

〒267-0067 千葉市緑区あすみが丘東3-15 お問い合わせ TEL.043-205-1500
ホームページ <http://www.hoki-museum.jp>
*各種ツアー、ミュージアムトークのご案内はHPをご覧ください。

開館時間：10:00-17:30 *入館は17:00まで。(6月30日は棚卸のため16:30閉館)
(5月3日~5日、7月15日、8月11日、9月16日、9月23日、10月7日、11月3日はナイトミュージアムのため19:30閉館)
休館日：火曜日 *火曜が祝日の場合開館、翌日休館。但し8月14日(火)開館、22日(水)休館
入館料：一般1800円 / 高・大生・65歳以上1300円 / 中学生900円 (入館料は常設展ギャラリー2-9を含む)
*小学生以下無料 (但し保護者1人につき小学生2人まで)

●電車：東京駅から約70分 JR横須賀線・総武線 千葉駅乗換、あるいはJR京葉線 蘇我駅乗換、JR外房線 土気駅南口下車、あすみが丘プランニューモール行きバスで5分「あすみが丘東4丁目」下車すぐ ●お車：東金道「中野インター」より15分、圏央道「茂原北インター」より10分 有料駐車場=普通乗用車40台

